

富士薬品主催 Webセミナー

心血管病残余リスクとしての 高尿酸血症の位置付けと薬剤介入

日時 2024年9月20日(金) 19:00~19:45

演者

益崎裕章先生

琉球大学大学院医学研究科
内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座
〈第二内科〉教授



略歴

1989年 京都大学 医学部医学科 卒業
1996年 京都大学 大学院医学研究科 博士課程修了、医学博士(分子医学専攻)
1999年 京都大学 医学部第二内科 助手
2000年 ハーバード大学 医学部招聘博士研究員・客員助教授 (Co:医学部長Jeffrey Flier教授)
2008年 京都大学 医学部内分泌代謝内科(旧 第二内科)講師
2009年 琉球大学 大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)教授
2014年 琉球大学病院 副病院長(2018年3月まで)・栄養管理部長 併任
2015年 琉球大学 医学部副医学部長(2019年3月まで)併任
2016年 寄附講座『糖尿病とがん 病態解析学講座』教授 併任

抄録

心血管病(CVD)や慢性腎臓病(CKD)の主要な発症・進展・悪化リスクとしての糖尿病・高血圧症・脂質異常症をしっかりと管理しても、残されたリスク(残余リスク)をゼロにすることは出来ない、という現実に直面することが少なくありません。高尿酸血症は代謝性の生活習慣病や肥満症を構成する様々な疾患に併存しやすいことが知られており、CVD、CKDにおける残余リスクとして、その臨床的意義が注目されています。日本で創薬されたキサンチンオキシダーゼ阻害薬のトピロキソスタットや選択的URAT1阻害薬のドチヌラドの適正な活用を通して、高尿酸血症を伴い、CVD、CKDのリスクが高いと想定される患者さんに対して、病態に応じた治療介入が可能となってきています。

本日は併存疾患や病態を考慮した高尿酸血症の個別最適化診療の在り方について考えてみたいと思います。

インターネット回線(ZOOM ウェビナー) を用いたご視聴のご案内

下記①または②の方法でアクセスできます。

【方法①】スマートフォンの場合

●下記 QR コードを読み取り頂く



9月20日 (金) 19:00~19:45 富士薬品主催 Webセミナー

日時 2024年9月20日 07:00 PM、大阪、札幌、東京

ウェビナー登録

名* 姓*

名 姓

メールアドレス*

join@company.com

施設名*

都道府県*

選択

登録時に提供する情報は、アカウントオーナーおよびホストと共有されます。アカウントオーナーとホストは、その情報を規約とプライバシーポリシーに従って使用・共有できます。

登録

☆123 あ か さ

ABC た な は 空白

あいう ま や ら

検索

わ わ 、。!?

下記を入力し講演にご参加ください。

- ・ご芳名
- ・メールアドレス
- ・ご施設名
- ・都道府県(プルダウンよりご選択)

【方法②】PCの場合

●下記 URL よりアクセスいただき、上記の必要事項を入力し、ご参加ください

<https://x.gd/rPhzF>

ウェビナー ID : 899 7982 8449

お問い合わせ：【富士薬品】Webセミナー事務局
f-seminar@fujiyakuhin.co.jp